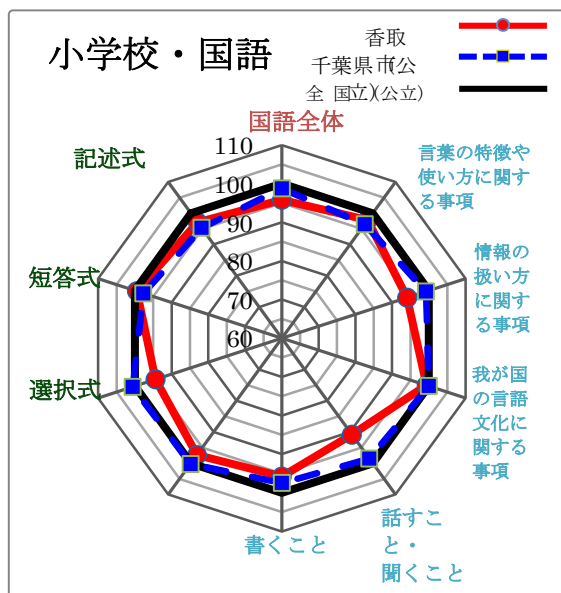


(2) 教科についての傾向と課題

※全国（公立）の平均正答率を 100 として、千葉県（公立）、香取市の平均正答率を相対的に表したグラフです。

小学校・国語

傾向と課題



内容別では、すべての領域で全国平均を下回っています。特に「話すこと・聞くこと」では、全国平均を 100 とした場合、香取市が 90.8 となる結果でした。課題であった「書くこと」の項目で改善の傾向が見られます。また今年度調査に加わった「我が国の言語文化に関する事項」は全国平均と同程度の結果となりました。

問題形式別では、「短答式」「記述式」は全国平均並みでしたが、「記述式」では全国平均に比べ数値の開きが見られました。

課題が見られた主な問題

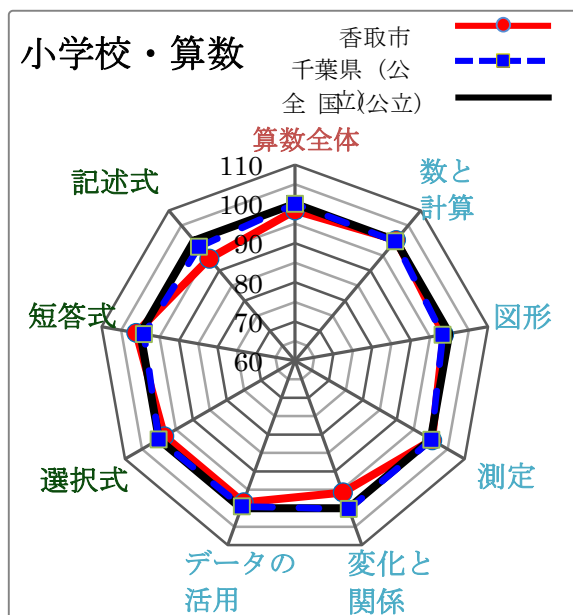
● 国語 1 一	目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかみる 【話すこと・聞くこと、選択式】 [香取市 47.5% 千葉県(公立)51.2% 全国(公立)53.3%]
● 国語 1 三 (2)	話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかみる 【話すこと・聞くこと、選択式】 [香取市 66.8% 千葉県(公立)73.7% 全国(公立)73.7%]
● 国語 1 三 (1)	自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができるかどうか見る 【話すこと・聞くこと、選択式】 [香取市 66.3% 千葉県(公立)71.0% 全国(公立)71.8%]

力を入れた学習

- 目的や意図に沿って、日常生活の中から話題を決め、集めた資料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を明確にすることが大事である。
- 書くことにおいて、集めた材料を書く目的や意図に応じて内容ごとにまとめたり、それらを互いに結び付けて関係を明確にしたりして、伝えたいことを書くことが重要である。

小学校・算数

傾向と課題



領域別では、「図形」「変化と関係」「データの活用」で平均を下回っていました。一方、「数と計算」「測定」では全国平均を上回り昨年度からの改善が見られました。

問題形式別では、「選択式」「記述式」において、全国平均と下回る結果でした。「選択式」の回答率は昨年度からの改善が見られました。一方、「短答式」は改善が見られ、全国平均を上回る結果となり、改善が見られました。

課題が見られた主な問題

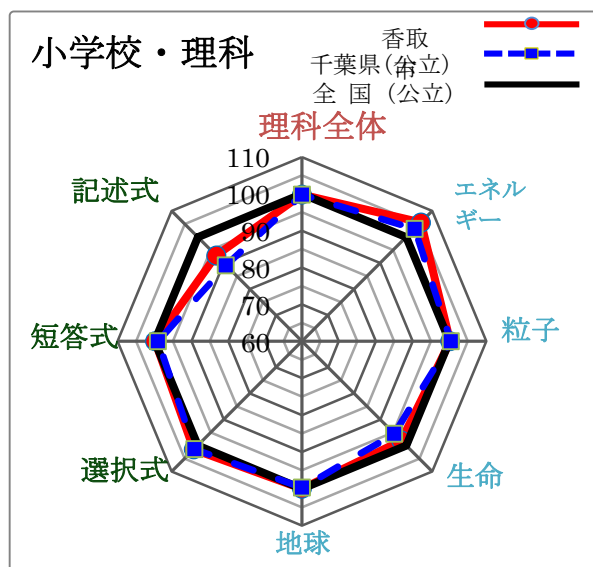
● 算数 1 (3)	示された表から「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ 【データの活用、選択式】 [香取市 66.6% 千葉県(公立)70.1% 全国(公立)71.6%]
● 算数 2 (4)	基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかみる 【図形、記述式】 [香取市 32.2% 千葉県(公立)35.5% 全国(公立)37.0%]
● 算数 4 (4)	「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかどうかをみる 【変化と関係、記述式】 [香取市 35.4% 千葉県(公立)42.2% 全国(公立)40.9%]

力を入れた学習

- 様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、その判断理由を表現できるような学習の充実を図る。
- 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質に基づいて図形を弁別できるような学習の充実を図る。
- 多角形の面積の求め方について、基本図形の面積の求め方を基に考察できるようにする。
- 示された情報から基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えることができるようにする。

小学校・理科

傾向と課題



領域別では、「エネルギー」「粒子」で全国平均を上回り、「地球」の領域は全国平均でした。「生命」の領域では若干全国平均を下回りました。全4領域において、前回調査よりも改善が見られました。

問題形式別では、「選択式」全国平均を上回り、短答式は全国平均でした。一方「記述式」において、全国平均と下回る結果でした。「選択式」「記述式」において前回調査よりも改善が見られました。

課題が見られた主な問題

● 理科3(4)	レタスの種子の発芽の条件について。差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現できるかどうかをみる【生命、記述式】 [香取市 22.7% 千葉県(公立) 23.6% 全国(公立) 29.9%]
● 理科3(3)	発芽するための必要条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し表現することができるかどうかをみる【生命、選択式】 [香取市 58.5% 千葉県(公立) 63.1% 全国(公立) 62.0%]
● 理科1(1)	赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる【地球、短答式】 [香取市 76.0% 千葉県(公立) 79.5% 全国(公立) 79.5%]

力を入れたい学習

- 花のつくりを観察するときに、図鑑などと照らし合わせおしべやめしべの部位と名称を説明する学習活動や複数の種類の花を観察し、共通点、差異点を見つける活動など、理科固有の名称を使用して自分の考えを表現する活動の充実を図る。
- 自然の事物・現象に働きかけて得た事実に基づいて、問題を見いだすことができるようにするためには、事実を比較し、差異点や共通点を捉えることができるようにすることが重要である。差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、問題を見いだすことができるようにする。
- 観察、実験などの結果を基に考察する際には、表やグラフなどに整理する活動を設定することで、結果を比較したり、複数の結果から多面的に考えたりして、自分の考えを表現できるようにする。